

2026年10月18日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」

- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -

(マタイによる福音書28:19~20)

聖霊降臨節第22主日

朝第2礼拝 10:30~11:30 (教会学校と合同)

<神の招き>

前奏 高きにあります神に栄光あれ ヴァルター

招きの詞 イザヤ書52:7~10

交読詩編 117:1~2

讃美歌 205(2)

<神の言葉>

聖書 エゼキエル書37:12~13
(旧約 聖書協会共同訳 1339 頁)
ヨハネによる福音書11:38~44
(新約 聖書協会共同訳 186 頁)

祈禱 美歌 507(119)
説教 「イエスさまは命の神さま」 熊江秀一牧師

祈禱 美歌 544(118)

<神への応答>

使徒信条
献金
主の祈り
宣教報告
頌栄 24(25)
派遣と祝福
後奏 主なる神を我らはたたえる ブットシュエット

今週の御言葉

イエスは、「もし信じるなら、神の栄光を見ると言ったのではないか」と言われた。
(ヨハネによる福音書11:40)

次週の礼拝(10月25日)

①9:00、②10:30

説教「霊によって絶えず祈る」佐藤潤伝道師
ヨエル書3:1~5、エフェソの信徒への手紙6:10~20
交読詩編148:1~6
讃美歌151、377、497、25

サテライトチャーチ植竹礼拝 10:00、夕18:00
「主イエスとラザロ」 説教: 熊江秀一牧師
ダニエル書12:2~3、ヨハネによる福音書11:1~19
交読詩編148:1~6
讃美歌19、59、449、29

ワースhip(賛美礼拝) 14:00
「感謝しよう! 賛美しよう!」 説教: 熊江秀一牧師
ルカによる福音書17:11~19
賛美: 花も、みんな賛美、どんな時でも、ワンボイス、
ありのままソング、主の祈り、感謝の心、
その日全世界が

朝第1礼拝 9:00~10:00

<神の招き>

前奏 愛するイエスよ、われらここに集いて バッハ

招きの詞 イザヤ書52:7~10

交読詩編 117:1~2

讃美歌 18

<神の言葉>

聖書 エゼキエル書37:12~13
(旧約 聖書協会共同訳 1339 頁)
ヨハネによる福音書11:38~44
(新約 聖書協会共同訳 186 頁)

祈禱 美歌 55
説教 「神の栄光を見る」 熊江秀一牧師

祈禱 美歌 358

<神への応答>

使徒信条
献金
主の祈り
頌栄 29
派遣と祝福
後奏 人よ、幸いを願うならば ブクステフーデ

夕礼拝 18:00~19:00

<神の招き>

前奏 神よ、我をあわれみ給え ヴァルター

招きの詞 イザヤ書52:7~10

交読詩編 117:1~2

讃美歌 14

<神の言葉>

聖書 出エジプト記32:30~35
(旧約 聖書協会共同訳 137 頁)
ルカによる福音書10:17~24
(新約 聖書協会共同訳 124 頁)

祈禱 美歌 321
説教 「名が天に書き記されている」 佐藤潤伝道師

祈禱 美歌 579

<神への応答>

使徒信条
献金
主の祈り
宣教報告
頌栄 25
派遣と祝福
後奏 今我が魂は主をほめたたえる バッヘルベル

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に 2. 熊本、能登、東日本大震災と水害の被災者の為に
3. 教会学校と子どもたちの為に 4. 関連幼稚園（大宮・植竹・白百合）の為に 5. バザーの為に
6. 埼玉地区の為に 7. 世界にキリストの平和があるように 8. 病気の兄弟の為に

***関東教区お祈りカレンダー** 鹿島教会 牛久教会 諸川伝道所

◇先週の説教より「信じて命を得る者」ヘブライ人への手紙 10 章 26～39 節、ハバクク書 2 章 2～4 節 熊江秀一牧師

聖書には「過って犯す罪」と「故意に犯す罪」がある。「過って犯す罪」は、贖いの犠牲によって赦される。しかし「故意に罪を犯す者」は主を冒瀆する者、民の中から絶たれる。（民数記 15：27 以下）。説教者は信仰を与えられた後、「故意に罪を犯し続ける者」への旧約以上の厳しい宣言を語る。それは「神の子を踏みつけ」「契約の血を汚れたものとみなし」「恵みの霊を侮る」ゆえである。ある人は「故意に犯す罪」は礼拝を軽んじることと言う。私たちも襟を正してこの言葉を聞かなければならない。この厳しい言葉の直後、説教者は励ましと勧めを語る。
洗礼を受けた後、救われた喜びの中で、信仰ゆえの試練に耐えた初めの頃を思い出すのである。この説教はローマの教会に語られた。厳しい迫害の時代である。
しかしどんな迫害にあってもローマから教会は

無くならず、信者は増え続けた。彼らは試練の中「自分たちがもっと優れた、いつまでも残る財産を持っていると知っていた」からである。それは地上の富に勝る天の宝。「永遠の命」であり「神の国を受け継ぐ約束」である。ゆえに彼らは「喜んで耐え忍んだ」。
だからこの説教者は宣言する。「自分の確信」を捨てず「忍耐」に生きることを。聖書の「忍耐」は上を見上げ、希望を持って耐え忍ぶという積極的な意味がある。
それは御言葉によって約束されている。説教者はハバクク書 2 章を引用しつつ、主が再び来られる時を確信して、信仰を持って歩むことを教える。なぜなら正しい者は信仰によって生きるからである。主が再び来られる時を確信して「いつまでも残る財産」を持って、信仰によって生きるのである。
「私たちは信じて命を得る者」。キリストが備えて下さった命の道を共に歩もう。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、㊦はサテライト㊧は夕礼拝。